

# 阿賀野川 えーとこだより aganogawa E-toko dayori



「蛇行する阿賀野川の夜明け」場所:阿賀町鹿瀬・角神/撮影:山口冬人氏(NPP 新潟県写真家協会理事)

# 近代産業の光と影の遺産から何を学べば良いか

8

6

## 夏休みこども工作



してスタンプ 2017年工作 を集めよう!



けい品が もらえるよ!

7月26日(水)~8月20日(日) 毎日・10時~と14時~の2回

各回先着20名 ※受付は開始30分前から ふれあい館にて! 参加無料!

※ 都合により一部を変更または中止する場合がございま すので、あらかじめご了承ください。また、危険防止のた め、未就学児は保護者と一緒の参加をお願いします。





# 県立環境と人間のふれあい館



住所 新潟市北区前新田新々囲乙 364-7 (福島潟のほとり、「ビュー福島潟」の隣です) TEL 025-387-1450 / FAX 025-387-1451 メール fureai@abeam.ocn.ne.jp ホームページ URL http://www.fureaikan.net/



ツイッターはじめました! 🄰 @freai9 ふれあい館の情報をつぶやきますので、 もしよろしければフォローしてください♪

環境と人間のふれあい館の ★対象は小学生以下の児童★

環境と人間のふれあい館キッズクラブでは、子どもたちがふれあい館 に親しんで、楽しみながら環境の大切さにふれることをめざします。オリ ジナル会員証や缶バッジのプレゼント、ふれあい館のおしごとをプチ体 験できるプログラムなどをご用意します!

① 当館のかわいいマスコットが入った会員証をさしあげます。② 工作教室などのイ ベント情報を送ります。③ お好みのオリジナル缶バッジをさしあげます(※1人1個ま で/キャラクターの中から選べます)。④「ふれあい館おしごとプチ体験」に参加でき ます(※5 m 大水槽へのえさやり・巨大ブラインドオープンほか)。

入会方法の詳細は、上記お問合せ先までご連絡いただくか、ふれあい館のホームページをご覧ください!

#### 「阿賀野川え~とこだプロジェクト」とは?

正式には「阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業」(略 称FM事業)と言い、阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と 向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関 係」をつむぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合 い、「新しい地域づくり」を目指して始まったプロジェクトです。

#### 阿賀野川え~とこだ!憲章(事業理念)

私たちは新潟水俣病に学び教訓を伝承することで、負の遺産から新たな |造していくことを目指します。阿賀野川流域の宝物を広く内外に 発信しながら、公害により失われた人と人、人と自然、人と社会の絆をつむ ぎ直していきます。地域を愛する人が地域の未来をつくる「流域自治」の確 (阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業推進委員会)

#### 編集後記

第22号はいかがでしたでしょうか?

昨年度は阿賀野川上流域で繁栄した近代産業の変遷を テーマにして、実際に草倉銅山・持倉銅山・鹿瀬ダム・昭和電 工㈱鹿瀬工場の現場を巡りながら、様々なイベントを開催し ました。特に、古河財閥が創業初期から経営を手がけた草倉 銅山と足尾銅山に関するイベントを阿賀町鹿瀬支所と協働し て開催できたおかげで、現在は草倉・足尾の歴史と教訓を学 べる新しいプログラムの開発へと進んでいます。

今年度は、こうしたプログラムを検証するツアーを実施して いくほか、様々なイベントも開催する予定なので、ぜひ多くの 方々からご参加いただければと存じます。

#### 阿賀野川え~とこだより 第22号

発行:新潟県(※環境省補助事業) 発行日:2017年7月10日 企画編集:一般社団法人あがのがわ環境学舎(〒959-2221 阿賀野市保田 3866-1)

TEL.&FAX.0250-68-5424 aganogawa@niigata.email.ne.jp

阿賀野川え~とこだ!流域通信 http://www.aganogawa.info/





# 足尾の不振を支えた草倉銅山 足尾銅山から花開いた日本の近代化



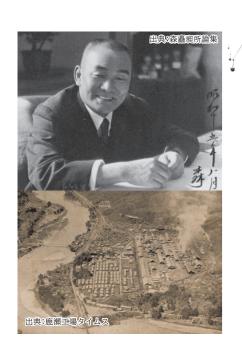
-の近代化への貢献、鉱毒事 場所の解明について、詳細に 講師の江花氏には、近年収





# 古河市兵衛と草倉・足尾銅山

京都生まれの古河市兵衛は政商・小野組の番頭を経て、鉱山業を足がかりに後の 古河財閥の礎を築いた。最初に手がけた鉱山が阿賀町鹿瀬にある草倉銅山で、当 初は草倉の稼ぎが不振をきわめた足尾銅山の開発を支えたと言われる。やがて大鉱脈を 掘り当てた足尾は東洋一の銅山に成長したものの、後に大鉱害も引き起こしてしまった。





# 昭和電工㈱の成立と 鹿瀬工場がたどった光と影

史料をもとに、新潟では初め 昭和電工㈱の成立過程をた 収集され



## 森矗昶(のぶてる)と昭和電工㈱鹿瀬工場

千葉県出身の森矗昶はヨード製造を経て、東信電気重役としてダム開発に従事す る。そして、昭和3年に阿賀町鹿瀬に鹿瀬ダムを建設し、その余剰電力を解消するた め、ダム附近に鹿瀬工場を建設した。なお、金融機関の融資担当者に阿賀野川を見 せて、「あれが担保だ」と嘯いて唖然とさせたエピソードは有名。後に昭和電工㈱を創設する



◆次ページ ● 阿賀野川上流域で栄えた近代産業の光と影の軌跡を追う



阿賀野川エコミュージアムを目指す 流域再生フォーラム(第6回

# 明治・大正・昭和の企業スピリット と忘れられた環境への配慮

草倉・足尾銅山を開発した古河財閥、山奥の大工場から出発した昭和電工

開催レポート

日時:平成29年3月26日(日)13時半~16時 場所:新潟市江南区郷土資料館 当日56名参加

明治・大正・昭和の企業人たちの"たくましいフロンティアスピリット"に触れるととも に、"環境配慮の地道な追求がいかに重要か"を学ぶフォーラムを開催しました!

阿賀野川・近代ものがたり 特別編

参加者 の主な 感想等

- ●近代日本を開花させた光の部分と田中正造や鉱害の影の部分を取り上げてほしい。(秋葉区・60代)
- ●豊かな川の生活で多くの人々が公害の被害者になったと知り驚いた。次世代へ伝えるべき。(阿賀町)
- ●足尾・草倉と現地に行ったことがあるが、公害防止対策含め今回でよく分かった。(新潟市・60代)
- ●草倉が鹿瀬地域に与えた恩恵に興味がある反面、鉱害という負の経験も見逃せない。(江南区・70代)
- ●信濃川と比べて裏口のようなイメージの阿賀野川も産業や生活が盛んだと分かった。(東区・60代)
- ●当時の写真を拡大して、様々な情報を解析する説明は素晴らしく感銘を受けた。(新発田市・70代)